

DXで長期保証を実現する 日立の空調ソリューション

お客様の課題をデジタルで解決。日立の空調IoTソリューション「exiida」*1による各種サービスや、日立製空調機の特徴などをご紹介します。



3つのポイント

1 安心サポート

2 管理負担を低減

3 省エネ、省コストをサポート

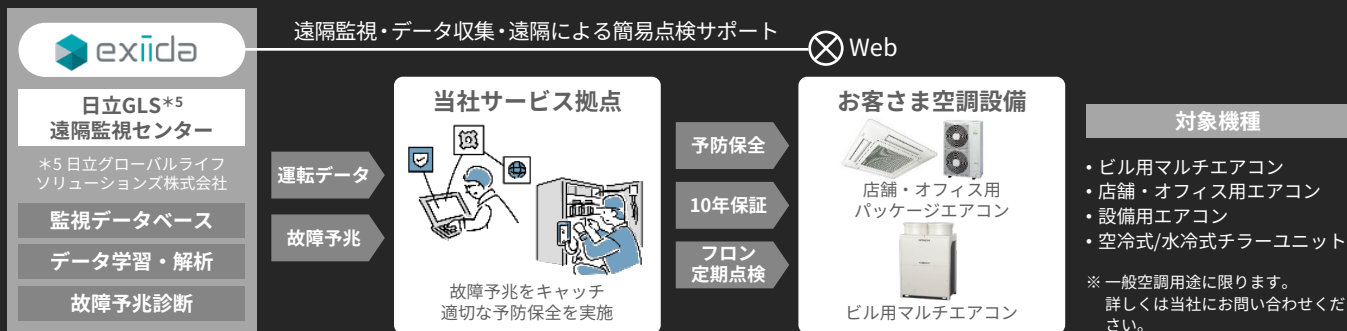
*1 「exiida (エクシーダ)」は、日立グローバルライフソリューションズ株式会社が展開する空調IoTソリューションの総称です。また、「exiida」は日立グローバルライフソリューションズ株式会社の登録商標です。

1 安心サポート

日立製冷凍・空調機器を遠隔で監視・診断を行う予防保全と10年間の長期保証

- ◆ 当社と遠隔監視保全契約を結んでいただくことで**10年間の修理費が無償**となります。*2
- ◆ 「exiida 遠隔監視・予兆診断*3」が、フロン排出抑制法の簡易点検をサポート。**従来の機器目視点検が不要**となります。*4
- ◆ 機器のコンディション管理 (予防保全) を実施し、**24時間365日故障対応**します。

*2 当社が展開する「exiida 保全サービス」での保証内容となります。「exiida 遠隔監視・予兆診断」を展開する日立グローバルライフソリューションズ株式会社と一部保証内容が異なります。
*3 予兆診断は「exiida 遠隔監視」の契約が必要です。予兆診断は冷凍サイクルに起因するものに限ります。
*4 ・機器稼働時間が短く、フロン類の漏えい兆候を判定するための圧縮機稼働データが不足する場合は判定ができません。
・データ不足等で月末判定が2カ月連続で行えない場合は、従来通り現地での目視による簡易点検が必要となります。
・簡易点検判定に対応した機種については、日立グローバルライフソリューションズ株式会社のWebサイトにてご確認ください。(https://www.hitachi-gls.co.jp/kentatsu)



2 管理負担を低減

目視点検と記録管理をデジタル化

遠隔監視+予兆診断のご契約により、3カ月ごとに実施が必要な簡易点検の判定を代替可能、煩わしい記録管理もデジタル化で管理負担を軽減



*6 機器稼働時間が短く、フロン漏えい兆候を判定するための圧縮機稼働データが不足する場合は診断できません。診断できない場合は従来通り目視の簡易点検が必要です。また、判定結果は日立グローバルライフソリューションズ株式会社が提供する「フロン排出抑制法管理システム」へ反映され、閲覧し確認いただけます。

2022年8月にフロン排出抑制法が改正：JRA GL-17に準拠した常時監視による漏えい検知システムで簡易点検(目視)の代替が可能になります。

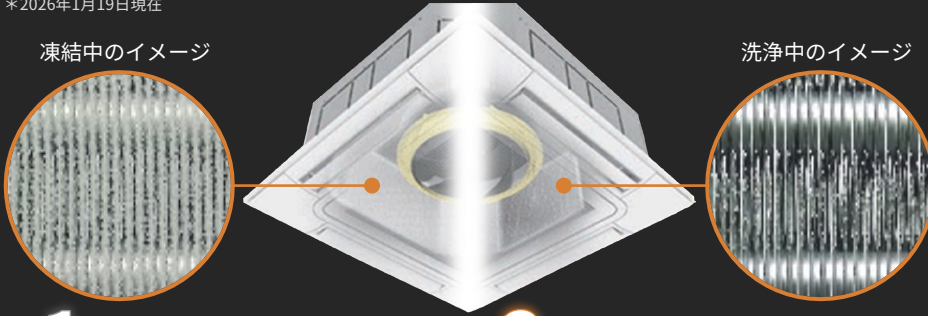
※ 別途フロン排出抑制法管理システムの申し込みが必要です。

熱交換器洗浄を自動化

日立独自* 凍結洗浄でほこりなどの汚れを落とし熱交換器の目詰まりを抑えます

*2026年1月19日現在

※ 対応機種の場合



凍結洗浄時の注意事項

凍結洗浄には対応機種や条件、運転に関する注意事項があります。詳しくは、下記よりWebサイトにてご確認ください。



店舗用



ビル用

1 熱交換器に霜を付ける

2 霜を溶かして汚れを落とす

※ [凍結洗浄] 機能動作時は電力を消費します。

(例：ビル用マルチエアコンの場合、外気気温35°C、室内温度28°C、室外ユニットRAS-AP280SG2、室内ユニットRCI-GP140K3 ×2台、配管長7.5mで最大消費電力量2.0kWh/回。)

3 省エネ、省コストをサポート

最新機種へのリニューアルで省エネ

15年前の日立製ビル用マルチエアコンを最新機種に入れ替えると
約36%省エネ・CO₂削減

[試算条件]

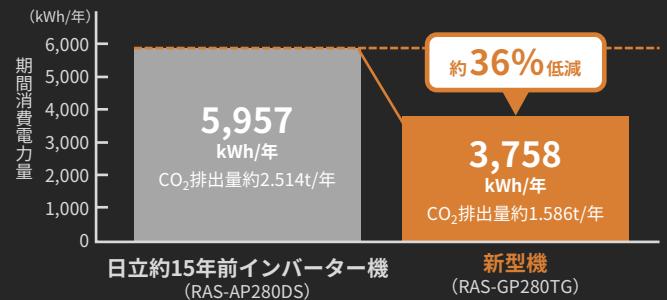
規格：JIS B 8616

使用期間：冷房 4月19日～11月11日、暖房 12月3日～3月15日

地区：東京 建物用途：事務所 使用日数：週6日 使用時間：8:00～20:00
CO₂排出係数 0.422kg-CO₂/kWh (電気事業低炭素社会協議会2024年度実績 [確報値] による。)

※ 期間消費電力量はJIS B 8616に基づいた計算値であり、実際は地域や使用条件により変わることがあります。

■ 期間消費電力量・CO₂排出量比較 (10馬力相当システムの場合)



AIで賢く電力コスト削減

exiida 遠隔監視・デマンド制御ソリューションで電気料金削減に貢献します

対象機種：店舗・オフィス用、ビル用マルチエアコン、設備用（一部機種を除く）

空調設備の電力消費低減ではピークを抑えて「契約電力」を下げるのが重要になります。日立はAIで常時消費電力を予測して、目標デマンド値を超えないように制御します。さらに、省エネ制御機能により「消費電力」も抑制できます。※ 別途契約が必要です。

高圧・特高の電気料金の構成

基本料金 = 契約電力 × 基本料金単価 × 力率割引・割増

従量料金 = 電力量料金 + 再エネ賦課金 + 燃料調整金

3項目は各単価×各月の使用電力量で決定。

省エネ制御

省エネ制御で消費電力を抑制

省エネ制御稼働条件

- ① デマンド制御が働いていない
- ② ブレ制御 (始業時間前) が働いていない
- ③ 空調の消費電力が一定値 (20kWh) 以上
- ④ 0:00～1:59以外の時間であること

株式会社 日立ビルシステム

本社 〒101-8941

東京都千代田区神田淡路町二丁目101番地 (ワテラストワー)

URL : <https://www.hbs.co.jp>

☎ 0120-7838-99 (カスタマーサポートセンター)

お問い合わせは…

● このカタログに掲載した内容は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。